

スイカ

英名：Watermelon 分類：ウリ科スイカ属に属するつる性野菜
学名：Citrullus lanatus



- ・**原産地**：アフリカ南部。
- ・**温度適応性**：高温・乾燥・多日照を好み天候の変化に敏感。
- ・**発芽適温**：最適温度 25～30℃。
- ・**生育適温**：気温 25～35℃。
- ・**光適応性**：強光を必要とする。少日照では着果不良となる。
- ・**土壌適応性**：砂土から粘質土や火山灰土など、幅広い土壌に適應するが、根は酸素要求量が高く、過湿に弱い。
- ・**土壌酸度適応性**：弱酸性～中性 (pH5.5～7.0)。
- ・**花芽分化**：中日植物 (日長と無関係で花芽形成が起こる植物)。花は一部に両性花を付けるものもあるが、一般に雌雄異花・雌雄同株である。雌花は、4～7節ごとに着生する。

作型別栽培方法

冷涼地・中間地・暖地のスイカ栽培で共通するのは、各地域において早熟栽培及び半促成栽培が多く、露地栽培は少ない。また、生産栽培の多くはユウガオを台木とした接木栽培で、育苗中のみ加温する。大玉スイカでは、4本整枝2果どり、または3本整枝1果どり、小玉スイカでは4本整枝2果どりまたは5本整枝3果どりが一般的である。

- (1) **加温促成ハウス栽培**：低温期最低温度 15℃を確保する。換気する場合もつる先に直接冷気をあてない。
- (2) **無加温半促成ハウス栽培**：透明またはグリーンの全面マルチに、定植時期によって2～3重のトンネルさらにはカーテンを使用する場合もある。適切な保温と換気が必要であり、その管理が雌花及び雄花の質に影響する。
- (3) **早熟トンネル栽培**：低温期の定植には、保温と遮光を兼ねてキャップを使用するが多い。
- (4) **普通栽培**：この栽培であっても、品質確保のため交配日の目印及び摘果は必ず実施する。

